



「速報」は大きな行事や出来事を皆で共有する為に発行します。

発行：令和5年11月
山城ネット（情宣チーム）

第3回 11月12日(土) 13:00～ 於：京都府聴言センター 聴覚障害者の豊かな暮らしを考える 山城研修会（暮らし研修会）

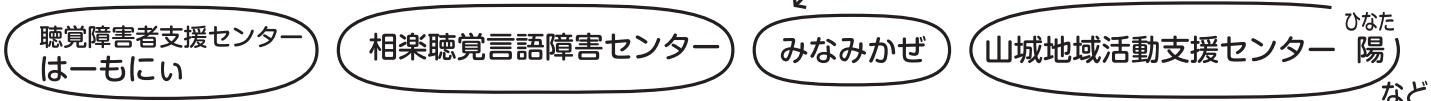
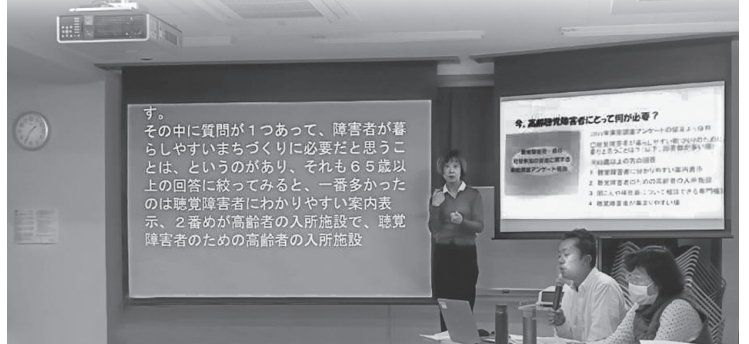
～高齢聴覚障害者が地域で豊かに暮らす 今、山城地域にはどんな取り組みがあるの？～

京都府聴覚言語障害センター所長、今西さんのお話をパワーポイントに添って伺いました。

●国勢調査（5年に1度、前は2020年）で分ったこと

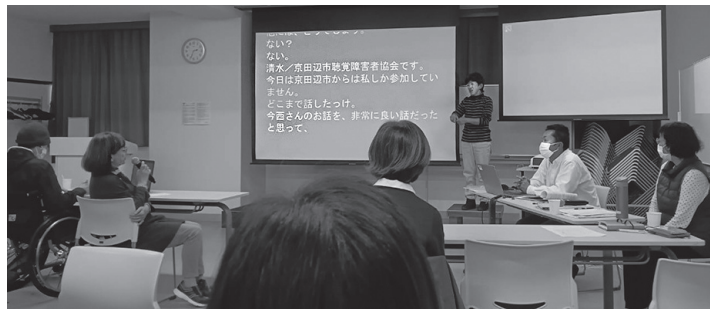
- ・日本の人口 → 減（今後も減る見込み）
- ・介護が必要な人 → 増 → そのため、聞こえに不自由な人 → 増えてくる

→ 高齢の聴覚障害者が豊かに暮らすためには、社会資源 がより必要になる。



●北部と南部は違う場所、、、だけど、聴覚障害者の要望はよく似ている

- ・府センターに通うのに交通が不便
- ・手話通訳できる人がほしい



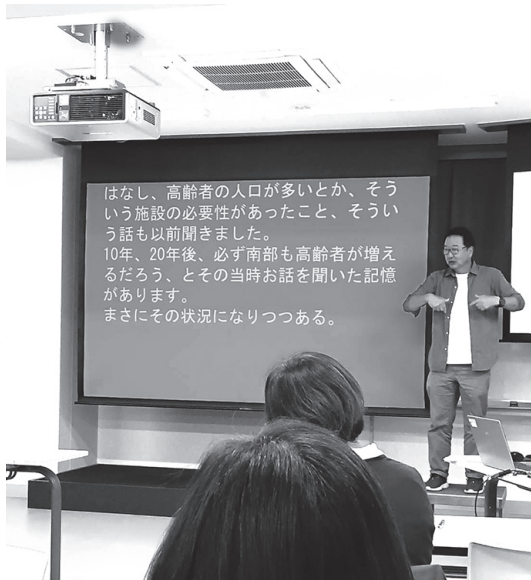
●2005年の実態調査アンケートに見られる要望

- ・聴覚障害者にわかりやすい案内表示
- ・聴覚障害者のための高齢者の入所施設
- ・聞こえや補聴器について相談できる専門機関
- ・聴覚障害者が集まりやすい場

●講演の後のアンケートでは

- ・障害者手帳を持っている人も、持っていない人も 集まれる場所が必要。
- ・以前、老人ホームが欲しい、運動あった。今はない。続けてほしい。
- ・高齢の聴覚障害者に関する事業を増やす必要。
- ・当事者だけでなく健聴者も意見を出して欲しい。

他、多数のご意見を頂きました。



今さら聞けない？
—— 略語解説 ——

府ネット・・・山城ネットの上部団体で、山城の他、京都府下の各地域の担当者が集まって会議をします。
 山城ネット・・・「聴覚障害者の豊かな暮らしを築く山城ネットワーク委員会」、山城の5地域の担当者が集って会議をします。
 暮らし研修会・・・「聴覚障害者の豊かな暮らしを築く山城研修会」で、山城ネットの暮らしチームが企画運営しています。
 府センター・・・「京都府聴覚言語障害センター」で、城陽にある、聴覚障害者情報提供施設です。
 法人・・・「社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会」詳細は <https://www.kyoto-chogen.or.jp> 見てね。